



大塚だより

大田区立調布大塚小学校
校長 玉野 麻衣



ことばの先を想像する

校長 玉野 麻衣

子どもたちの学習環境を考えると、「ことばの環境を整える」という視点も大切です。周囲の大人のことば遣いはもちろんのこと、子どもたち同士でのことばの使い方も、「環境」として大切な要素です。「使い分ける」という場面もあるかもしれませんが、相手の存在あつてのことばの価値、ということをお忘れしないことが大切です。「これを言ったら、相手がどう思うか考えなさい」とか、「自分が言われて嬉しいことを相手に伝えよう」とか、ことばによるコミュニケーションのすべを学校生活の中でも伝えていますが、発したことばの先を想像する、想像してことばを発するという、これがなかなか難しく、衝動的に発してしまうことばは、時として傷ついたり傷つけたりしてしまいます。

ことばですべては伝えられない、ということをお前提にした「伝える努力をする」というコミュニケーションについて、歌人・エッセイストの俵万智さんが著書で記しているのでご紹介します。

「実は言葉で100%気持ちを説明することは不可能だ。でもそれは言葉が無力だということではない。(略)言葉は世界と1対1で対応しているのではなくて、ざっくりとした目印だと知っておくといいと思う。(略)目印はないよりもあったほうが、ずっといい。説明できないってことを分かったうえで、いくつかの目印を集めて、だいたいこんな感じなんですと伝える努力をすることが、コミュニケーションだし表現ということなのだ。言葉の力が小さいのではなく、人の気持ちが大きいんだっていうふうに考えてもいいかもしれない。」

「生きる言葉」(俵万智著、新潮新書2025.4)より

「そんなつもりじゃなかった」とか「そんなこと言ってない」とか、ことばのやり取りでうまくいかないことをたくさん経験しながら、子どもたちは成長していきます。すべては伝えられないけれど、丁寧に分かってもらえるように伝えることばはあるかもしれません。これからも「伝える努力」をたくさん積んでほしいと思います。

1月の生活目標

「学校のきまりを守ろう」

○3学期も引き続き、きまりを守って学校生活を送り、時間を意識しながら行動するようにしましょう。担任の先生と一緒にもう一度「調布大塚小学校のきまり」を確認し、みんなで声を掛け合って安全に、楽しく過ごせるようにしましょう。

1月の保健目標

「風邪を予防しましょう」

○予防していても風邪やインフルエンザ等にかかることはあります。しかし、過ごし方次第で早く回復できることも多いです。十分に睡眠をとる、こまめに水分補給をする、少しでも栄養のある食事を摂る等して体の回復に努めましょう。

○ 1月19日(月)～30日(金) エールウィーク

クラスだけではなく、他学年の友達のよさを見付け、学校全体の仲を深めることを目的に取り組みます。

○ お知らせ

12月25日にクラスルーム「学校からのお知らせ」と「tetoru」に児童、保護者向けの相談窓口についての文書を送信します。お子さんと一緒にご一読ください。

音楽発表会の聴きどころ

音楽専科 木下 紀子

2月13日(金)14日(土)に音楽発表会を開催します。全学年、歌唱を2曲、合奏を1曲披露します。歌唱は、どの学年も共通教材を取り入れました。共通教材は、音楽の学習課程で必修曲となっており、日本の音楽文化の継承や自然、情緒を育むことを目的としています。きっと世代を超えてお楽しみいただけるかと思えます。

プログラムとは別に学習の過程を記したものを配布予定です。当日は、これまでのこどもたちの学び、頑張り、温かい拍手を送っていただけたらと思います。

学年	曲目 (「 」は共通教材)	聴きどころ
1	斉唱「たのしいね」「 うみ 」 合奏「ちょうちょう」	歌も合奏も互いの音を聴き合いながら、みんなで合わせることを楽しんで演奏します。鍵盤ハーモニカは、ちょうちょうが飛んでいるようなめらかに演奏します。
2	斉唱「手のひらを太陽に」 「夕やけこやけ」 合奏「ミッキーマウスマーチ」	元気いっぱいの歌声と高学年のような響きのある歌声が聴きどころです。初めての学年合奏では、軽快な2拍子にのって演奏します。
3	斉唱 「ふじ山」 「おはようのエール」 合奏「エーデルワイス」	歌唱は、旋律の動きや曲の山を意識した表現が聴きどころです。合奏は、5月からはじめたリコーダー学習の成果を披露します。
4	二部合唱 「もみじ」 斉唱「赤い屋根の家」 合奏「エルクンバンチェロ」	「もみじ」では、初めての二部合唱に挑戦します。「赤い屋根の家」は、歌詞と強弱のつながりを意識して表現します。合奏は、音楽にのって演奏し、会場を盛り上げます。
5	斉唱 「冬げしき」 二部合唱「小さな勇氣」 合奏「彼こそは海賊」	「冬げしき」は、美しい日本の冬の情景が、聴いている人に伝わるよう歌う技能を高めました。「小さな勇氣」は、歌詞への共感を表現につなげていきます。合奏は、8分の6拍子の拍にのり、波に揺られる海賊船の勇ましさを表現します。
6	二部合唱 「ふるさと」 「いのちの歌」 合奏「情熱大陸」	高学年らしい美しい二部合唱が聴きどころです。詩と音楽の関わりを感じながら、表現します。合奏は、演奏しながらこどもたちの体が自然と動き出してしまうほど、楽しんで練習しています。表現する楽しさを会場の皆と共有できたらと思います。

サポートルームより

サポートルーム担当 井上 翔子

サポートルームは、一人一人の得意なことを伸ばし、学習上又は生活上で困っていることに対して克服するためのコツを学ぶ学習の場です。2学期も友達や教員と活動をする中で、相手に自分の考えを丁寧に伝えたり、意見を聞き入れたりする姿が見られました。また、思うように活動が進まない場面でも解決策を考え、気持ちに折り合いをつける様子もありました。個別指導では自分の得意不得意について考え、得意なことは自分で認め、不得意なことへの対応策を教員と話し合いました。3学期も自分の目標に向かって学びを深めていきたいと思えます。

ご相談があれば、学級担任やスクールカウンセラー、特別支援教育コーディネーターにご連絡ください。

勤務日・サポートルーム巡回教員：毎週月曜・水曜 ・スクールカウンセラー(川上)：原則金曜

※スクールカウンセラーの来校日は変更になる場合もあります。行事予定でご確認ください。